



OpenJDK 8

OpenJDK 8 の使用

ガイド

法律上の通知

Copyright © 2023 Red Hat, Inc.

The text of and illustrations in this document are licensed by Red Hat under a Creative Commons Attribution–Share Alike 3.0 Unported license ("CC-BY-SA"). An explanation of CC-BY-SA is available at

<http://creativecommons.org/licenses/by-sa/3.0/>

. In accordance with CC-BY-SA, if you distribute this document or an adaptation of it, you must provide the URL for the original version.

Red Hat, as the licensor of this document, waives the right to enforce, and agrees not to assert, Section 4d of CC-BY-SA to the fullest extent permitted by applicable law.

Red Hat, Red Hat Enterprise Linux, the Shadowman logo, the Red Hat logo, JBoss, OpenShift, Fedora, the Infinity logo, and RHCE are trademarks of Red Hat, Inc., registered in the United States and other countries.

Linux[®] is the registered trademark of Linus Torvalds in the United States and other countries.

Java[®] is a registered trademark of Oracle and/or its affiliates.

XFS[®] is a trademark of Silicon Graphics International Corp. or its subsidiaries in the United States and/or other countries.

MySQL[®] is a registered trademark of MySQL AB in the United States, the European Union and other countries.

Node.js[®] is an official trademark of Joyent. Red Hat is not formally related to or endorsed by the official Joyent Node.js open source or commercial project.

The OpenStack[®] Word Mark and OpenStack logo are either registered trademarks/service marks or trademarks/service marks of the OpenStack Foundation, in the United States and other countries and are used with the OpenStack Foundation's permission. We are not affiliated with, endorsed or sponsored by the OpenStack Foundation, or the OpenStack community.

All other trademarks are the property of their respective owners.

概要

OpenJDK は、Microsoft Windows および Red Hat Enterprise Linux プラットフォーム上の Red Hat 製品です。OpenJDK 8 の概要ガイドでは、この製品の概要と、ソフトウェアをインストールして使用を開始する方法を説明します。

目次

多様性を受け入れるオープンソースの強化	3
RED HAT ドキュメントへのフィードバック (英語のみ)	4
第1章 OPENJDK の RED HAT ビルドの概要	5
第2章 アップストリームの OPENJDK 8 との相違点	6
第3章 ディストリビューションの選択	7

多様性を受け入れるオープンソースの強化

Red Hat では、コード、ドキュメント、Web プロパティにおける配慮に欠ける用語の置き換えに取り組んでいます。まずは、マスター (master)、スレーブ (slave)、ブラックリスト (blacklist)、ホワイトリスト (whitelist) の 4 つの用語の置き換えから始めます。この取り組みは膨大な作業を要するため、今後の複数のリリースで段階的に用語の置き換えを実施して参ります。詳細は、[Red Hat CTO である Chris Wright のメッセージ](#) を参照してください。

RED HAT ドキュメントへのフィードバック (英語のみ)

Red Hat ドキュメントに関するご意見やご感想をお寄せください。フィードバックをお寄せいただくには、ドキュメントのテキストを強調表示し、コメントを追加できます。

このセクションでは、フィードバックの送信方法を説明します。

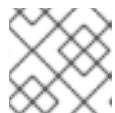
前提条件

- Red Hat カスタマーポータルにログインしている。
- Red Hat カスタマーポータルで、**マルチページ HTML** 形式でドキュメントを表示している。

手順

フィードバックを提供するには、以下の手順を実施します。

1. ドキュメントの右上隅にある **Feedback** ボタンをクリックして、既存のフィードバックを確認します。



注記

フィードバック機能は、**Multi-page HTML** 形式でのみ有効です。

2. フィードバックを提供するドキュメントのセクションを強調表示します。
3. 強調表示されたテキスト近くに表示される **Add Feedback** ポップアップをクリックします。ページの右側のフィードバックセクションにテキストボックスが表示されます。
4. テキストボックスにフィードバックを入力し、**Submit** をクリックします。ドキュメントに関する問題が作成されます。
5. 問題を表示するには、フィードバックビューで問題トラッカーリンクをクリックします。

第1章 OPENJDK の RED HAT ビルドの概要

Open JDK の Red Hat ビルドは、Java Platform の無料でオープンソースの実装 (Java SE) です。これは、アップストリームの OpenJDK 8u プロジェクトと 11u プロジェクトをベースとしており、OpenJDK バージョン 8 と 11 の両方に、Shenandoah Garbage Collector が含まれています。

- **マルチプラットフォーム:** OpenJDK の Red Hat ビルドが Windows および RHEL でサポートされるようになりました。これは、デスクトップ、データセンター、およびハイブリッドクラウド全体で単一の Java プラットフォームを標準化するのに役立ちます。
- **頻繁なリリース:** Red Hat は、OpenJDK 8 および 11 ディストリビューションに対して、JRE および JDK の四半期更新を提供します。これらは **rpm**、**msi**、**zip** ファイル、およびコンテナとして利用できます。
- **長期サポート:** Red Hat は、最近リリースされた OpenJDK 11 および 8 をサポートします。サポートライフサイクルの詳細は、[OpenJDK のライフサイクルおよびサポートポリシー](#) を参照してください。
- **Java Web Start** Red Hat ビルドの OpenJDK は、Windows および RHEL の Java Web Start をサポートします。

第2章 アップストリームの OPENJDK 8 との相違点

Red Hat Enterprise Linux の OpenJDK には、OpenJDK のアップストリームディストリビューションの構造上の変更が数多く含まれています。OpenJDK の Windows バージョンは、可能な限り Red Hat Enterprise Linux を追跡しようとしています。

主な変更点は以下のとおりです。

- Red Hat Enterprise Linux では、アーカイブ形式のサポートの **zlib**、イメージサポートの **libjpeg-turbo**、**libpng**、および **giflib** などのネイティブライブラリーに動的にリンクします。同様に、フォントレンダリングと管理用に **Harfbuzz** および **Freetype** に対して動的にリンクします。
Microsoft Windows では、FreeType ライブラリーは対応する Red Hat Enterprise Linux RPM のソースから構築されます。
- Red Hat Enterprise Linux では、システム全体のタイムゾーンデータファイルは、タイムゾーン情報のソースとして使用されます。
Microsoft Windows には、Red Hat Enterprise Linux の利用可能な最新のタイムゾーンデータが含まれています。
- Red Hat Enterprise Linux では、システム全体の CA 証明書が使用されます。
Microsoft Windows では、Red Hat Enterprise Linux からの利用可能な最新の CA 証明書が使用されます。
- Windows ディストリビューションには、Red Hat Enterprise Linux からインポートされた、TrueType フォントのセットが含まれます。
- **src.zip** ファイルには、OpenJDK に同梱されるすべての JAR ライブラリーのソースが含まれます。

第3章 ディストリビューションの選択

Red Hat は OpenJDK のディストリビューションを複数提供しています。このモジュールは、ニーズに適したディストリビューションの選択に役立ちます。

OpenJDK RPMs for RHEL 7

RHEL 7 用の OpenJDK 8 および 11 の RPM ディストリビューション OpenJDK 8 ディストリビューションを JRE としてインストールすることもできます。

これらのディストリビューションはすべて、IcedTea-Web(IT-W) パッケージで Java Web Start を提供します。icedtea-Web には、Java Web 開始とプラグインが含まれます。IT-W は、OpenJDK 8 のデフォルトの OpenJDK にプルします。必要であれば、OpenJDK 11 をランタイムで使用するように設定できますが、推奨されません。

OpenJDK 11 ディストリビューションには、Mission Control をサポートするためのフライトレコーダーも含まれます。

OpenJDK RPMs for RHEL 8

RHEL 8 用の OpenJDK 8 および 11 の RPM ディストリビューション OpenJDK 8 ディストリビューションを JRE としてインストールすることもできます。

これらのディストリビューションはすべて、IcedTea-Web(IT-W) パッケージで Java Web Start を提供します。icedtea-Web には Java Web 開始が含まれます。IT-W は、OpenJDK 8 のデフォルトの OpenJDK にプルされています。ランタイム時に OpenJDK 11 を使用するように設定できます。

OpenJDK 11 ディストリビューションには、Mission Control をサポートするためのフライトレコーダーも含まれます。

RHEL 用の OpenJDK 8 JRE portable アーカイブ

RHEL 7 および 8 ホスト用の移植可能な OpenJDK 8 JRE アーカイブディストリビューション

RHEL 用の OpenJDK 8 ポータブルアーカイブ

RHEL 7 および 8 ホスト用の移植可能な OpenJDK 8 アーカイブディストリビューション。

RHEL 用の OpenJDK 11 ポータブルアーカイブ

RHEL 7 および 8 ホスト用の移植可能な OpenJDK 11 アーカイブディストリビューションこのディストリビューションには、Mission Control をサポートするためにフライトレコーダーが含まれます。

Windows 用の OpenJDK アーカイブ

サポートされるすべての Windows ホスト用の OpenJDK 8 および 11 ディストリビューション。ホストに複数の OpenJDK バージョンがインストールされている場合に推奨されます。このディストリビューションには以下が含まれます。

- Java Web Start
- ミッションコントロール

Windows 向け OpenJDK インストーラー

サポートされるすべての Windows ホスト用の OpenJDK 8 および 11 MSI インストーラー。オプションで Java Web Start をインストールし、環境変数を設定します。1つの OpenJDK バージョンのシステム全体のインストールに適しています。

関連情報

- JDK Mission Control は、[Red Hat Software Collections 3.2](#) で RHEL で利用できます。

